

1 教職員研修（夏季実技研修会）について

平成22年8月6日、南吉井小学校において、情報教育委員会・視聴覚教育委員会・算数数学委員会合同夏季実技研修会を行った。今年度は、電子黒板についての研修を行った。

(1) 各校のおすすめサイトの紹介

参加者の先生方に事前に授業で使えるサイトを見つけておいていただき、このサイトを電子黒板を使って紹介し合った。

「NHKデジタル教材」「ひらせんの情報教育」「計算モンスターズ」「地図を描く!」「つるちゃんのプラネタリウム」

「IT用語辞典」「理科ネットワーク」「Mikata++」「愛知教育大学飯島研究室」

「はなまる理科学習ゲーム」「Flash学習教材集」「TOSSランド」等、電子黒板

ならではの教材の提示方法や最新の資料の提示をすることで、児童生徒への興味関心を高め、学習効果を高める方法を学ぶことができた。また、「Flash」の教材を使うことで、低学年や特別支援学級児童生徒の指導にも有効であることが分かった。

今後、各校において、スマートボードの有効性を生かして、楽しい・分かる授業の展開を進めていく必要性と導入を積極的に働きかけていこうという意見が出された。

(2) フリーソフトの紹介

電子黒板を使って楽しく活動が行われるフリーソフトの紹介を行った。「県名クイズDOKODA」は、都道府県名を覚えたり、各都道府県の花や特産物をクイズ形式で学習したりできるフリーソフトである。「CAST」は、計算をしたり、言葉を次々提示をしたりすることができる。また、自分で問題のデータを作ることもできる。「100マス夫さん」は、100マス計算を簡単に表示できる。

「Ktimer」は、画面上に大きなタイマーが表示できる。「octime」は、時計を表示したり、問題を出してくれたりするソフトである。「音符をよんでね」は、次々音符が出てきて答えるものである。

これらのフリーソフトを実際試してみて、どのように授業で活用できるか考えることができた。

(3) 電子黒板の多様な使い方

最近Webカメラが安価で購入でき、その解像度も上がってきているため、これを活用して、簡単に電子黒板や大型テレビでの教材提示に使うことができる。教材提示装置は高価なため、簡易に使えるこうしたアイデアを生かして、学習を進めていくべきである。

(4) 情報セキュリティ

ネット対策のリンク集を紹介した。「インターネットを安全に使うためのインターネット体験ドリル」や「セキュリティ被害体験」など、著作権・情報モラルなどの情報について研修を行った。

(5) 「愛媛の情報教育」について

昨年度、「愛媛の情報教育」に掲載された教育実践の紹介を行った。「情報機器やネットワークを活用した教育の実践— 地域教材「今治のくらし」のデジタル教材化を通して—」「情報モラル教育の創造」「情報機器を生かした授業実践」等、すばらしい研究の成果を各校に持ち帰っていただき、各校の情報教育の推進に生かしていただいた。



2 地域イントラネットを使った学校間交流

東温市では、地域イントラネットを使って、学校間の交流を行っている。テレビカメラで自校の様子を撮影したものがイントラネットを通して他校へ配信され、他校の様子がプロジェクタで4分割された画面に映されるというものである。

毎週火曜日、同じ学年同士や部活動のメンバー同士などがカメラの前に立って交流をしている。

以前は自己紹介をしたり、学校の様子の紹介をしたりしていたが、最近は、それぞれの学校での行事等の報告をしたり、クイズをしたりするなど、内容が工夫され、双方向の交流ができるようになってきた。



3 今後の課題

- 電子黒板が各校に設置されているが、まだ台数が少ないために、デジタル教科書の導入は進んでいない。各校で、適切なコンテンツを作ったり、探したりしなければならない状況である。毎日使って指導の充実が図られるように、研究を進めていかねばならない。
- USBメモリによるデータ漏洩やコンピュータウイルス感染などの問題について解決していくために、職員研修や必要な予防措置について検討しなければならない。
- フリーウェアの活用によって、今まで不可能と思われていたことができるようになってきている。今後も、研究を進めていく必要がある。
- 携帯電話によるインターネットの使用がコンピュータより多く行われている現状を把握し、どのような新しい危険が児童生徒に迫ってきているか研修を行って、適切な指導をしていく必要がある。
- 東温市のイントラネット利用について、内容を工夫するなど少しずつ改善されている。学校間交流を密にすることで、それぞれの学校のよさを知り、自分たちの学校の活動をより充実させていくことを願っている。